

庄内の風 ⑦⑩

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

きただてのおおぜき 北楯大堰開削400年

11月1日(木)、庄内町狩川にある北館神社において、北楯大堰開削400年を記念する催しが開かれました。

今では日本でも有数の米どころとなっている庄内平野も、400年ほど前までは、水利に恵まれず、



見渡す限りの荒野原で、点在する池や沼の水を利用して田畑を耕作しているに過ぎませんでした。慶長6年(1601年)、狩

川城主となった北館大学利長が、「なんとか田んぼに水を引けば、人々の暮らしも豊かになるのでは」と10年の歳月をかけて計画、その後3年の年月をかけ、長さ32キロメートルに及ぶ水路を完成させました。その後、水路の周辺には次々に集落が生まれ、今日にいたるまで流域住民に多くの恵みを運んできました。この大堰を切り開いた北館利長の労を称え、堰を「北楯大堰」と名付け、その偉業が今日まで称え継がれ、大切に守られてきています。



北楯大堰は、平成18年に農林水産省の日本の疏水百選に選ばれています。

※疏水…農業用に設けられた人工的な水路

復興応援大使 リレー通信 ⑥

各地で南三陸町の地域ブランドのPRや復興まちづくりの状況をお知らせいただいている南三陸町復興応援大使の皆さんの声をお届けする「復興応援大使リレー通信」を連載しています。今回は、イタリアでオペラ歌手として活躍している角南有紀さんです。



復興応援大使
角南有紀さん
(イタリア ナポリ)

海外からもずっと想っています

歌をうたい、作詞・作曲するのが私の仕事ですが、南三陸町の皆様の前に立つ時にはこのすべてができなくなります。声が出なくなり、文章を書く手が止まります。その戸惑いがなんの役にも立たないことは充分承知の上、笑顔で歌えなくなってしまう。そんなちっぽけな私をよそに、南三陸町の方々は本当に強くて温かい。以前訪れた際に「笑顔で歌い続けてください」と私が励まされてしまったほどです。

私はイタリア在住で、イタリアのロータリークラブからの寄付金を日本に送る橋渡しをして、日本のロータリークラブの皆さんの多大なる助けを借りて南三陸町で使うマイクロバスと車数台を購入していただきました。今年の夏には平成の森にコミュニティ図書館「魚竜館」を建設していただきました。

イタリアは地震の怖さを知る国です。また海に囲まれていて、地形が日本によく似ています。そのため原発反対運動が起こり、電力は他国に頼っています。チャリティーコンサートを開くと、快く募金をしてくれます。現在の状況の正しい情報を海外に知らせること、そして日本の2011年3月11日を風化させないことが私の役目だと思っています。美しい南三陸町に、心からの笑顔で過ごせる日が一日も早く訪れますように。希望の町に海外からもたくさん観光客が訪れますように。遠く離れていてもずっと応援しています。小さくても必ず形にして、どこかで誰かの笑顔になりますように。大好きな東北を、ずっとずっと応援しています。また近いうちに「復興スタミナラーメン」を食べに行きます。

南三陸

平成24年
No. 82 12月号

2012年12月1日発行

